



Kyoto Symphony Orchestra

関係者 各位

店村 眞積 氏 京響ソロ首席ヴィオラ奏者に就任

2012年9月1日より

京都市交響楽団は、新たに、京都市出身で日本を代表するヴィオラ奏者であり、現東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者である店村眞積氏を、2012年9月1日からソロ首席ヴィオラ奏者に迎えることとなりました。

同氏は、フィレンツェ市立歌劇場管弦楽団の首席ヴィオラ奏者として活躍され、帰国後は国内の主要楽団でソロ首席奏者を歴任されている他、ソリストとしての活動や大学での後進の教育にもたずさわられる等、第一線で活躍しておられます。

京都市交響楽団へは、昨年8月の「第549回定期演奏会」において、R. シュトラウス作曲の交響詩「ドン・キホーテ」のソリストとして客演いただき、好評を博しました。

なお、就任後の初出演は、2012年9月7日（金）19時から京都コンサートホールで行われます「京響第561回定期演奏会」となります。

今後とも京都市交響楽団に一層の注目を賜りますよう、お願い申し上げます。

【就任】2012年9月 ソロ首席ヴィオラ奏者 / 店村 眞積 氏
Mazumi TANAMURA / Solo Principal Viola

©竹原伸治



京都に生まれる。6歳よりヴァイオリンを始め、東儀祐二、鷺見三郎、江藤俊哉の諸氏に師事。学生コンクール、日本音楽コンクールなど受賞歴を重ね、桐朋学園大学を経て、1976年イタリアに渡り、イタリア弦楽四重奏団のヴィオラ奏者であったピエロ・ファルツリ氏に師事。その後、指揮者リッカルド・ムーティ氏に認められ、フィレンツェ市立歌劇場（オーケストラ・デル・マッジョ・ムジカーレ・フィオレンティーノ）の首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクールヴィオラ部門第2位入賞。以後1984年に帰国するまで、ヨーロッパ各地でソリスト及び室内楽奏者としても活躍。フィエーゾレ音楽祭、ジュネーヴ音楽祭など多くの音楽祭にも招かれ、また桐五重奏団とヨーロッパ・ツアーを行っている。

1984年に帰国し、読売日本交響楽団ソロ・ヴィオリスト、2001年よりNHK交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者を歴任。

一方、ソリストとして、読売日本交響楽団、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、パイヤール室内管弦楽団などと共演。また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、霧島などの音楽祭の常連であり、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団のメンバーでもある。さらに、ヴィオラの祭典「ヴィオラ・スペース」への出演を始め、日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開、CDも数多くリリースしている。

現在、東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者。東京音楽大学教授。

公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団 京都市交響楽団 事務局
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26 TEL 075-711-3110 FAX 075-711-2955